

TOSHIN Hearing NEWS

2019年12月発行

第24回『きこえと補聴器の講演会』を開催しました

第24回 **入場無料**
 敬老の日記念
きこえと補聴器の講演会

日 時 2019年9月8日(日) 午後1:10～午後3:30
 座長 川 寄 良 明 先生 一般社団法人 大阪府耳鼻咽喉科医会 会長
 午後12時半より受付開始
 午後1時10分より開演のご挨拶

午後1:30～2:30 **講演 1**
 耳のしくみと難聴
 こんどう耳鼻咽喉科クリニック 院長 近 藤 千 雅 先生

午後2:50～3:30 **講演 2**
 補聴器の基礎講座
 東神実業株式会社 企画管理部 今 井 哲 也

午後3:30～
総 括
 一般社団法人 大阪府耳鼻咽喉科医会 会長 川 寄 良 明 先生

※補聴器・部品等の販売はいたしません
 (補聴器と聴こえについて広く知っていただくための講演会ですのでご了承下さい)

場 所 OMMビル 1階 グラン101・102号室
 大阪市中央区大手前1-7-31

当社主催、一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会の後援により、座長を大阪府耳鼻咽喉科医会会長川寄良明先生にお願いし、「耳の仕組みと難聴」近藤千雅先生（こんどう耳鼻咽喉科クリニック院長）、「補聴器の基礎講座」今井哲也（東神実業株式会社企画管理部）のふたつの演題で講演会を開催いたしました。この講演会は23年前、当社のおお客様向けに補聴器と難聴の啓発活動の一環として大阪府耳鼻咽喉科医会のご協力の下で始まりましたが、2年前からはより多くの方に補聴器や難聴について知っていただくために、当社のおお客様以外にもインターネットや新聞などの広告で広く募集するようになりました。今回の参加者の約3割は補聴器未経験者で、世間の補聴器への関心の高まりを感じさせられました。参加者のご要望は、「最新の補聴器について知りたい」「補聴器の取扱について知りたい」といった内容が多く、補聴器についての情報発信がまだまだ不足していると痛感いたしました。講演会当日は天候にも恵まれ128名の方々にご来場いただき、盛況のうちに閉会いたしました。当社の願いは難聴者とそのご家族の方々、さらには一般の方々の難聴と補聴器への理解の促進です。これからも先生方のご指導ご協力を仰ぎながら続けていく所存です。

補聴器販売等に関する相談・苦情の分析結果が発表されました

(一社)日本補聴器工業会が昨年度に国民生活センターへ寄せられた補聴器販売等に関する相談、苦情の分析結果を発表しました

国民生活センターへの「苦情、相談総件数」は過去2年減少傾向にありましたが「苦情」が前年と比べ95件と大幅に増加したことが総件数を増加させた要因と考えられます。購入ルート別で最も増加したのは通信販売で、認定補聴器専門店、認定補聴器技能者などの情報がまだまだ認知されていないと実感させられる結果となりました。

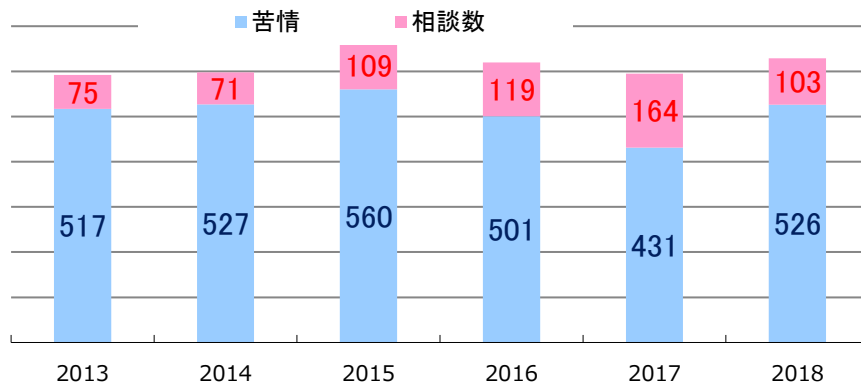
苦情の内容は以下の四つに分類されます。

1. 危険・有害事象の発生 ⇒ 頭痛、炎症、体調不良、耳型採取事故等。
2. 補聴効果への不満 ⇒ 調整不足、期待装用効果とのギャップ等。
3. 価格 ⇒ 高額商品を高齢者が一人で契約。後に家族が高すぎるとクレーム。
4. 販売方法 ⇒ 強引な購入の勧めと販売。不誠実な接客対応。

苦情を減らして行くためには補聴器の対面販売による有資格者からの購入を推奨することが必要であると考えます。

目次

- 1 第24回きこえと補聴器の講演会
- 2 H.30 国民生活センターに寄せられた苦情の分析結果
- 3 リオンがグッドデザイン賞受賞
- 4 親子で工場見学
- 5 店舗情報



【平成30年度の分析】

- 1) 総件数の629件は昨年の595件と比べて、件数で34件、割合で6%増加。
- 2) 苦情件数の526件は昨年の431件と比べて、件数で95件、割合で22%増加。

リオンのオーディオメータがグッドデザイン賞を初受賞

2020年に発売を予定しているオーディオメータ「AA-K1A」「AA-K1B」が2019年度グッドデザイン賞を受賞しました

本製品の最大の特長は受話器や応答ボタンとの接続コードが無く、操作部も電池使用が可能な**世界初の「フルコードレス」仕様の聴力検査機器**ということです。各機器がケーブルでつながれている従来の聴力検査機器の常識を打ち破り、完全ワイヤレス化を実現したことでケーブルの接触不良がなくなるなど、操作性や耐久性が劇的に向上しております。また、手が不自由でも押しやすい応答ボタン、頭の大きさを問わずフィットするヘッドホンなど、様々な国籍・状態の人が簡便に使えるユニバーサル・デザインで設計されており、検査時の被験者の煩わしさやストレスを解消していることも高く評価され、今回の受賞となりました。なお、適用規格（JIS T 1201-1:2201）については「AA-K1A」がタイプ4、「AA-K1B」がタイプ5となっており、健康診断や学校健診の選別検査での使用が想定されております。

製品概要 ～主な特長と仕様～

- ①新開発のワイヤレス受話器、ワイヤレス応答ボタン操作部との通信には混信の心配が少ない
920MHz帯を採用。聴力検査室の窓を隔てた通信*も可能。*対応する聴力検査室や距離には制限あり。
- ②快適装用を実現した受話器、耳介をゴムで圧迫することのない「耳覆い型」を初めて採用。
ヘッドバンドの調整が不要な「アジャストフリー」機能搭載。
- ③操作部も電池駆動が可能な「フルコードレス」仕様。 ④わかりやすく高い操作性。
- ⑤小型軽量の操作部。従来製品(AA-57,58)と比べ体積・重量を40%以上削減。
- ⑥最大3人までの同時検査*が可能(手動選別検査)。 *オプションの購入が必要。
- ⑦自動選別機能/自動閾値検査機能(AA-K1Aのみ)搭載。 ⑧充電電池・充電器を付属。低ランニングコスト。



「親子で工場見学」をリオンが開催 ～補聴器をお使いの小学生とその保護者を招待～

補聴器をお使いの小学生とその保護者の方を招待し、補聴器ができるまでを見学・体験する「親子で工場見学」を開催しました

リオンでは「"聞こえる"から生まれる、未来を育てたい。」というコンセプトのもと、難聴の子どもたちのためのサポート企画「キッズ応援プロジェクト」を展開しています。「親子で工場見学」は同プロジェクトの取り組みとして2016年よりスタートし、毎年開催されており、大きな反響があります。2019年は補聴器をお使いの小学生とその保護者の方をご招待し、16組52名の方々をご参加されました。当日は、難聴の子どもたちに分かりやすく、楽しく工場を見学・体験してもらうため、手話対応可能なスタッフが付き添い、子どもたち一人ひとりにタブレットPCを貸出して、工場見学プログラムを実施しました。補聴器のしくみの紹介や、見学場所に合わせてクイズが出題されるオリジナルアプリを搭載したタブレットPCを持った子どもたちは、補聴器ができるまでの製造工程を見学し、オーダーメイド補聴器製作時に行う耳型採取に使用する材料を使った型取り等を体験しました。また、7月25日には難聴の元プロ・ボディーボーダーYUMIEさんが特別参加し、補聴器との出会いが様々なチャレンジ活動の可能性を広げたエピソードを紹介しました。ご参加いただいた方からは、「実際に使用している補聴器の製造工程を見ることが出来て良かったです。」「写真を使用した資料や手話通訳などがあり、説明が大変分かりやすかったです。」「すべてが丁寧で、感動しました。」など、多くのご感想が寄せられました。

店舗紹介

2019年6月18日に徳島店が移転 リニューアルオープンしました

徳島県徳島市にある徳島店が拡張のため同ビル内にて3階から1階に移転し、リニューアルオープンいたしました。広さが以前の倍以上になり、ゆったりとくつろいでいただけるスペースになりました。

住所：〒770-0841 徳島県徳島市八百屋町3丁目2番地
大同生命徳島ビル1階

電話：088(622)3561

ファックス：088(654)6058

営業時間：午前9時～午後5時（日曜・祝日は休業）

TOSHIN Hearing NEWS 発行元

 **東神実業株式会社**
トーシン補聴器センター



本社：〒550-0002 大阪市西区西本町2-4-7

TEL：06(6531)2541 FAX：06(6531)3398

URL：http://www.toshin-ha.co.jp/